

令和4年度

ふくい教育フォーラム

教育DX で拓く 福井の未来

開催日程

令和5年3月7日(火)・8日(水) オンライン開催
(zoomによる開催)

13:30~16:30 研究・実践発表

3月9日(木) ハイブリッド開催
(会場の発表をzoomでも配信)

会場：福井県教育総合研究所 大講義室

10:00~12:35 研究・実践発表

13:45~14:50 シンポジウム

15:00~16:10 総括講演

「ここまで来た！教育DX最前線」

講師 株式会社情報通信総合研究所
特別研究員 平井聡一郎氏

参加申込

申込方法 プログラムに記載のQRコードまたは福井県教育総合研究所のHPから参加を希望する発表にお申し込み下さい。

申込締切 令和5年~~2月24日(金)~~ **3月3日(金)**

参加申込は次ページのQRコードまたはURLからお申し込み下さい。
発表要旨については4ページ目以降をご覧ください。

3月7日 (火) 1日目 (オンライン開催)

時間	No	発表タイトル	発表者	
13:30~13:35		開会挨拶・諸連絡		
13:35~14:00	①	全教職員で取り組む教育DX	灯明寺中学校	新宅常朗
14:05~14:30	②	いつでもどこでも誰とでもつながる環境づくり	上庄中学校	飯田吉則
14:35~15:00	③	PowerAppsアプリによる日常業務DX	附属義務教育学校	河合創
15:05~15:30	④	多方面の「つながり」の中で、自分に自信をもてる生徒を育てる	大安寺中学校	北島正也
15:35~16:00	⑤	Chromebookの活用例	西津小学校	川嶋一晃
16:05~16:30	⑥	提案型ビジネスによる学校事務のアップデート	みそみ小学校	浦谷時生
16:30~16:35		諸連絡		

3月8日 (水) 2日目 (オンライン開催)

※ 2つの発表が同時に行われる時間帯は、どちらかの発表を選択してご参加ください。

時間	No	発表タイトル	発表者	No	発表タイトル	発表者
13:30~13:35		開会挨拶・諸連絡				
13:35~14:00	⑦	児童が意欲的に天気を予報するための2つの手立て	松原小学校 石田健悟	⑧	SLACKで英語授業実践交流、働き方改革	三国中学校 江澤隆輔
14:05~14:30	⑨	iPadの効果的活用	国高小学校 田中祐輝	⑩	プログラミング教室実践報告	武生商工高校 渡辺賢
14:35~15:00	⑪	クラウドを教員が使えば、子どもも使う！授業が変わる！	社西小学校 尾川智子	⑫	主体的な生徒物理実験の開発研究	若狭高校 野坂卓史
15:05~15:30	⑬	教師協働でつながる・広がる学び	平泉寺小学校 寺島亮太	⑭	学校を魅力化しつつ多忙化を解消するには	美方高校 岩本守聡
15:35~16:00	⑮	Let's enjoy English together !!	西津小学校 大下芳徳	⑯	高校通級における社会適応を目指した取り組み	武生高校定時制 小林就彰
16:05~16:30	⑰	デジタル・シティズンシップ教育×育てる生徒指導・教育相談	教育総合研究所 有田留美子・林みどり			
16:30~16:35		諸連絡				

3月9日 (木) 3日目 (ハイブリッド開催)

時間	No	発表タイトル	発表者	
9:55~10:00		開会挨拶・諸連絡		
10:00~10:35	⑱	アプリ「バーチャル転校生」の活用を通して	足羽中学校	向井敏幸
10:40~11:15	⑲	ICTの効果的な活用方法の研究	足羽第一中学校	前川友樹
11:20~11:55	⑳	タブレットが文房具になるような日常的な活用方法	三国南小学校	高橋正晃
12:00~12:35	㉑	1人1台端末の文房具化	明新小学校	高井豊一郎
13:45~14:50	㉒	教育シンポジウム …午前中の発表者4名と講師による意見交流		
15:00~16:10	㉓	総括講演「ここまで来た！教育DX最前線」 講師 株式会社情報通信総合研究所特別研究員 平井聡一郎氏		
16:10~16:15		諸連絡		

参加申込

< 申込の流れ >

- ① 下記のQRコードまたはURLから申込フォームを開きます。
- ② 必要事項を記入して送信してください。
- ③ 参加受付のメールが自動返信されます。
(メールが届かない場合は、メールアドレスを確認して再度送信してください)
- ④ 3月1日以降に、参加申込者のメールアドレス宛にzoomのURLと発表資料のダウンロード先を送信します。



<https://forms.gle/7rJLrYhggJKgRx319>

< 参加申込に関する注意事項 >

1. 参加対象：教職員および教育委員会関係者
2. 所属長の了承を得てお申し込み下さい。
3. 同一端末で複数の方が参加する場合でも、各参加者ごとにお申し込みください。(各発表ごとの参加人数を把握するため)
4. 参加中の録画・録音・撮影はご遠慮下さい。
5. オンラインでの参加について、
 - ①通信回線の安定のため原則としてカメラ・オフでご参加下さい。
 - ②発言を求められた時以外はマイク・オフをお願いします。
6. 新型コロナウイルスの感染状況によって3日目の開催形態を変更する場合があります。

【お問合せ先】
福井県教育研究所 教科研究センター
担当：村上・青垣

電話：0776-58-2170 (直通)
E-mail：m-murakami-2o@ma.fukui-ed.jp

発表要旨 3月7日 (1日目)

No. ①

全教職員で取り組む教育DX

～生徒のタブレット活用、オンライン活用、校務支援を通して～

13:35
～14:00

福井市灯明寺中学校／教諭 新宅常朗

本校では、スクールプランにおける重点目標の一つである「生徒が主体的に取り組む授業づくり」を目指して、ICT教育を充実させてきました。教師が授業で、生徒に話し合い活動をさせる際、ホワイトボードの代わりにタブレットを使い、生徒が自分の班だけでなく他の班の話し合い活動の様子を観察し、様々な考え方を取り入れることができるようになりました。また、自宅でのリモート学習や相談室での学習に対応するため、オンラインでの活用を取り入れています。校務支援においては、朝や放課後の電話での欠席連絡をオンライン化へ切り替えを行っています。

No. ②

いつでもどこでも誰とでもつながる環境づくり

14:05
～14:30

大野市上庄中学校／教頭 飯田吉則

一人一台タブレット端末およびネットワークの整備が進み、オンラインによる遠隔授業および会議等を行う環境が整いつつあります。しかし、実際には様々な課題が存在し、いつでもどこでも誰とでもつながれるとは言い難い状況です。本実践発表では、今年度行ったオンラインによる遠隔授業および会議等から明らかになった課題や、その解決方法を示し、他校との気軽な交流について提案します。

No. ③

PowerAppsアプリによる日常業務DX

14:35
～15:00

福井大学教育学部附属義務教育学校／教諭 河合創

朝の職員連絡メモ、欠席連絡、健康観察、行事予定、部活動予定、時間割は教員が毎日必ず確認が必要なデータです。これらのデータは、個人で管理するものではなく、保護者からの連絡等を踏まえ、教員間で同時閲覧、同時編集を要するものです。Microsoft 365のPowerAppsで作成したアプリを軸に、SharePoint、Power Automateを活用すると、上記データに非常に容易にアクセスでき、編集、共有が可能になります。本発表では、その概要と作成までのプロセス、効果を報告します。

No. ④

多方面の「つながり」の中で、 自分に自信をもてる生徒を育てる

15:05
～15:30

福井市大安寺中学校／教諭 北島正也

本校は小規模校であり、長い間、同一集団で生活しています。そのため、人間関係の固定化が起こりやすく、自分に自信をもてない児童生徒が多いです。しかし、地域とのつながり、社会とのつながり、学級の友達とのつながり、過去の自分とのつながり、教科と教科の学習のつながりなど、様々な人や事象とつながり合って学ぶことにより、自己の成長を実感し、自分に自信をもって主体的に行動することができるようになってきました。3年生の学びを中心に、そのプロセスを紹介します。

発表要旨 3月7日 (1日目)

No. ⑤

Chromebookの活用例

～Googleクラスルームでできること～

15:35

～16:00

小浜市立西津小学校／教諭 川嶋一晃

Chromebook導入時に児童が早く操作に慣れるようにするための事例や、Chromebook等の活用が苦手な先生方にもなるべく簡単に利用でき、かつ授業や日常で先生方の負担を少しでも減らすことができるような事例（情報共有、共同作業）を紹介します。私自身、ICTについて詳しい方ではありませんが、とにかく使ってみることで、たくさんの良さを発見することができました。今回の発表で、便利だと実感できた点をお伝えし、先生方のICT活用へのハードルを少しでも低くすることができたら嬉しく思います。

No. ⑥

提案型ビジネスによる学校事務のアップデート

16:05

～16:30

若狭町立みそみ小学校／事務職員 浦谷時生

事務職員が自らの専門性を生かした積極的なアウトプットを行うことによって、学校教育の活性化やそれにかかわる業務改善へ効果的につながるものと考えます。

私自身が財務マネジメント等による企画提案を行った実践事例を紹介しながら、事務をつかさどる職として、教員とは違った視点から校務運営に携わるスタッフの一人として、事務職員は今後どのようにアップデートしていくべきか、その理想像へのプロセスをどう描いていくか、皆様とともに考えます。

発表要旨 3月8日(2日目)

どちらかの発表を選んでお申し込みください

No. ⑦

児童が意欲的に天気を予報するための2つの手立て ～ICTを活用して～

13:35
～14:00

敦賀市立松原小学校／教諭 石田健悟

身の回りの現象や社会と理科との関わりから興味・関心を引き、学びを実生活に活かす授業を目指して実践を行いました。ICTを活用し、リアルタイムで長野県とつながり、実際の天気を紹介しあいました。また、雲の動画を何度も見返したり、友達の意見を共有機能を使って知ったりしたことで、意欲の向上や多様な視点での気づきがありました。一方で、多くの気づきや情報を児童が処理できない場面も見られたため、教師のコーディネート力が大切だと感じました。

No. ⑧

SLACKで英語授業実践交流、働き方改革

13:35
～14:00

坂井市立三国中学校／教諭 江澤隆輔

「生徒がワクワクする、力がつく授業をしたい」。先生方の思いでしょう。私もそうです。これからもずっとそうでしょう。しかし、大学を卒業してすぐに教師になった私に突きつけられた現実は違いました。雑務に追われ、授業の準備がままならない日々。授業とは関係のない仕事がたくさんあり、帰るのが日を跨ぐこともしばしば。そこで、先生方と横に繋がって情報の交換がしたい、そうすれば先生方のスキルアップのみならず、働き方改革にもなるのではと思い、オンライン上に「ラフに」でも「活発に」やりとりできる場を立ち上げました。

No. ⑨

iPadの効果的活用

～算数科の実践を通して～

14:05
～14:30

越前市国高小学校／教諭 田中祐輝

算数科の授業でiPadを有効に活用できた実践を発表します。主に、iPadにアプリで導入されている「Metamoji Classroom」と「Google Earth」を活用した実践事例になります。導入されているアプリが違うこともあるため、活用しづらいこともあるかと思います。しかし、さらなる有効的な活用方法を見付けられるよう、実践を通して効果的だった点と改善していかなければならない点を伝えられたらと思います。

No. ⑩

プログラミング教室実践報告

～地域連携と学びのアウトプット～

14:05
～14:30

福井県立武生商工高等学校／教諭 渡辺賢

工業科の課題研究の一環で行ったプログラミング教室の実践について報告します。今年度は、地域のイベントで2回、義務教育課主幹の小高連携プログラミング教室で1回の計3回の教室を実施しました。

各教室は、すべて生徒が講師役を務めました。また、対象が小学生ということもあり、分かりやすい説明のための工夫を模索するなど、生徒自ら学びを深めることができました。さらに、生徒は、Googleの共有機能を使って資料（スライド）作成を進めるなど協働的な学びも得られました。

今回は、地域連携の魅力や主体的な学びの実践について共有することで、今後の授業実践の一助になればと考えます。

どちらかの発表を選んでお申し込みください

発表要旨 3月8日(2日目)

どちらかの発表を選んでお申し込みください

No. ⑪

クラウドを教員が使えば、子どもも使う！ 授業が変わる！

14:35
～15:00

福井市社西小学校／教諭 尾川智子

「教員がクラウドを活用しなければ、子どもも活用しない」という考えで、次のことを実践してきました。①教員のICTスキルアップ向上_学校全体での取組「教員への研修と業務改善6つ」、②TeachingからCoachingへの授業_学級での取組「ICTを活用した授業実践3つ」。

教員には、紹介するだけでなく、実際に体感してもらったため、苦手な教員でも「やってみようかな」となり、教員全体のICTスキルアップにつながりました。授業では、TeachingからCoachingへの授業するため、ICTとルーブリックを活用しました。活動時間が増え、子どもが主体的に取り組みました。具体的にどのように取り組んできたのかを紹介します。

No. ⑫

主体的な生徒物理実験の開発研究 ～生徒の科学的で探究的な学びから考える～

14:35
～15:00

福井県立若狭高等学校／教諭 野坂卓史

高等学校、物理基礎（理数物理）における物理実験においては、その多くは単元ごとに学んだ「物理の法則性」を確かめるための実験に過ぎず、実験自体、再現性が担保され、いわゆるお料理のレシピのようにその通り作業のように行えば結果が得られる物でした。今回、私どもの物理実験開発グループはこれまでの法則性を確認する物理実験とは異なり、生徒が主体的に取り組める物理実験を例として新たに示します。また、実践を通して明らかになった生徒の取組の様子や課題について報告します。

No. ⑬

教師協働でつながる・広がる学び ～自主サークル活動を通して～

15:05
～15:30

勝山市立平泉寺小学校／教諭 寺島亮太

1人1台端末環境が整い、授業や校務など様々な場面でICT化が進んでいる中、私たち教員は、それらに順応することが求められています。しかし、日々進化していく機能や素晴らしい実践に取り組む教員がいる一方、何をすればいいのかわかり、活用への第一歩を踏み出せない教員も中にはいます。その状況を目の当たりにし、教員同士が学び合い、気軽に悩みを共有できる場があれば…と思うようになりました。その思いから、今年度自主サークルを立ち上げました。悩みながらも取り組んできた1年について、ご紹介したいと思います。

No. ⑭

学校を魅力化しつつ多忙化を解消するには ～探究を軸にした学校改革と、それに伴う業務改善の推進～

15:05
～15:30

福井県立美方高等学校／教諭 岩本守聡

数年前、本校は2年連続で定員割れを起こしたことで危機感が高まり、学校を魅力化する機運が高まりました。3年前、実践コミュニティとして「ビジョン事務局」を新たに立ち上げ、学校を魅力化しつつ、その魅力を中学生や地域に発信していく取り組みを始め、その新事業の軸に「探究学習」を据えました。本校の教育スタイルを進化させることと、それによる多忙化を改善するため、ゼロベースで業務の再編成を行う取り組みの現状と、その後の展望をお伝えします。

どちらかの発表を選んでお申し込みください

発表要旨 3月8日(2日目)

どちらかの発表を選んでお申し込みください

No. ⑮

Let's enjoy English together!!

～小学校外国語科(英語) 3年間の取組から見てきたもの～

15:35

～16:00

小浜市立西津小学校/教諭 大下芳徳

小学校外国語科(英語)が本格的にスタートして3年目を迎える今、これまでの3年間でふり振り返り「成果と課題」を明らかにし、今後『小学校英語』が進むべき“よりよい”方向性について、みんなでいっしょに考えたいと思います。

コロナ禍の中での英語授業、ICTとの“協働”、ALTとのチーム・ティーチング、「指導と評価の一体化」、『中学校英語科との連携』等々、日々の授業の中から生まれてきている様々な課題について、参加者のみなさんと情報交換・意見交流を図りながら、これからの『小学校英語』の“指針”を明確にしていきたいと考えています。いっしょに楽しく学び合いましょう！よろしく願いいたします!!

No. ⑯

高校通級における社会適応を目指した取り組み

15:35

～16:00

福井県立武生高等学校定時制/教諭 小林就彰

武生高校定時制では令和元年度より通級による指導を取り入れ、学校全体的なインクルーシブ体制に加え、よりきめ細やかな個別の支援ができるようになりました。本発表では通級指導の目的である「心理的な安定」「人間関係の形成」「コミュニケーション」に向け、年々多様化してきた本校の支援形態を振り返ってみます。心理職や福祉職、就労支援事業所等と連携した取り組みや、将来の進路先との連続性を見据えた実践を紹介します。

No. ⑰

デジタル・シティズンシップ教育×育てる生徒指導・教育相談 ～小学校における実践と効果～

16:05

～16:30

福井県教育総合研究所 教育相談センター/主任 有田留美子
研究員 林みどり

子どもを取り巻く環境は大きく変化し、学校では、ネット問題に関する指導や対応が喫緊の課題となっています。今年度改訂された生徒指導提要において、教職員は、児童生徒が自ら成長・発達していく過程を支える存在であるということが示され、「指導」から「支援」の生徒指導へと質的転換が求められています。本センターでは、学校支援を目的とし、デジタル時代に対応した積極的生徒指導の充実を目指して、デジタル・シティズンシップ教育の実践に取り組みました。発表では、小学校における実践と効果について取り上げます。

発表要旨 3月9日(3日目)

No. ⑱

アプリ「バーチャル転校生」の活用を通して ～デジタル技術がもたらす人の心理への影響～

10:00
～10:35

福井市足羽中学校／教諭 向井敏幸

本研究発表ではアプリ「バーチャル転校生」について紹介します。「バーチャル転校生」とは、パソコン上に仮想のクラスメートが登場して議論に参加するアプリです。同アプリを活用することで、生徒が多様な考えに触れ、深い学びにつながった実践の報告を通して、デジタル技術が人の心理、特に、人のモチベーションにどのように作用するのかについて新たな視点を提案します。また、「『人が、機械を活用して、人を育てる』とはどのようなことか」について、実践を通じて感じたことを共有したいと考えます。

No. ⑲

ICTの効果的な活用方法の研究

10:40
～11:15

福井市足羽第一中学校／教諭 前川友樹

本校では、教職員のDXとして、授業や卒業式のオンライン配信など学校教育の充実や、業務改善のために、ICTを活用した取り組みを進めています。また、生徒が主体的に学び深めることのできる授業の中で、仲間と考えを共有するツールとして、日々、効果的なICT活用の方法を模索し、実践を重ねています。本校での実践を報告し、幅広く知っていただくとともに、新たな視点でのご意見をいただくことで、更なる発展につなげていきたいと考えています。

No. ⑳

タブレットが文房具になるような日常的な 活用方法

11:20
～11:55

坂井市立三国南小学校／教諭 高橋正晃

本校のICT教育の目標は、「タブレットを文房具のように」です。デジタル教科書の活用や「SKY MENU Cloud」を利用したグループワークによる対話的活動など、タブレットをいろいろな方法で授業づくりに生かしています。また、学校と家庭をオンラインで結び、学習や連絡等にも生かすことができました。本校のこれまでの取り組みを紹介するとともに、ICT機器の活用が今後どのような価値を見いだすようになるのか、またこれからの課題は何かということを考えていきたいです。

No. ㉑

1人1台端末の文房具化 ～教育のDX化による学びの深化～

12:00
～12:35

福井市明新小学校／教諭 高井豊一郎

1人1台端末の導入期から、児童がタブレットを使った学習が日常となり、普段使いできる環境作りを行いました。個別、一斉、協働とそれぞれの学習場面においてICTを取り入れることで、学びの深化や転換を図りました。特にコロナで協働学習に制限がかかる中、ICTを活用することで学びを止めることなく、学習を進めることができました。教材のデジタル化にとどまらない、教育のDX化を進めた実践により、児童はより主体的に学習に取り組み、自分で判断しながら学習を進めることができました。1人1台のタブレットが児童にとって文房具の1つとなるまでの実践を紹介します。

教育シンポジウム・総括講演

3月9日(3日目)

No. ②②

13:45~14:50

教育シンポジウム

午前中に実践を発表する4名の先生方にシンポジストとしてご登壇いただき、本フォーラム講師の平井聡一郎氏がコーディネーターを務め、「教育DXで拓く福井の未来」をテーマに、それぞれの実践や研究をふまえた意見交流をしていただきます。

シンポジウムの学びをより深めるために、午前中の実践発表も併せてご参加いただくことをお勧めします。

シンポジスト	向井 敏幸氏 (福井市足羽中学校)
	前川 友樹氏 (福井市足羽第一中学校)
	高橋 正晃氏 (坂井市立三国南小学校)
	高井豊一郎氏 (福井市明新小学校)
コーディネーター	平井聡一郎氏 (情報通信総合研究所)

No. ②③

15:00~16:10

総括講演

「ここまで来た！ 教育DX最前線」

講師 株式会社情報通信総合研究所特別研究員 平井聡一郎氏

講師プロフィール

茨城県の公立小中学校で教諭、中学校教頭、小学校校長として33年間勤務、その間、総和町教委、茨城県教委で指導主事を務める。古河市教育委員会で参事兼指導課長として、全国初となるセルラー型タブレットとクラウドによるICT機器環境の導入を推進。2017年度より現職。南牧村教育CIO他、自治体、私学、教育関係企業のICTアドバイザー、茨城大学教育学部非常勤講師、経済産業省産業構造審議会臨時委員、経済産業省未来の教室評価・検討会議委員、文部科学省教育情報化専門家会議委員、文部科学省ICT活用教育アドバイザー、総務省地域情報化アドバイザー、デジタル庁デジタル推進委員等、各方面で活躍中。合同会社未来教育デザイン代表社員。

